

早期肺がん

【聖路加国際病院ロボット手術センター】

<早期肺がんの治療選択肢>

01 経過観察

- ごく早期の場合、すぐに治療はせずに経過観察することがあります

02 手術（肺切除）

- 開胸手術
- 胸腔鏡手術
- ロボット支援手術

03 放射線治療

<早期肺がんの手術方法>

01. 開胸手術

従来の標準的な治療
です

02. 胸腔鏡手術

低侵襲※で傷が小さく
体への負担が少ない
ですが、技術的な制
約を伴います

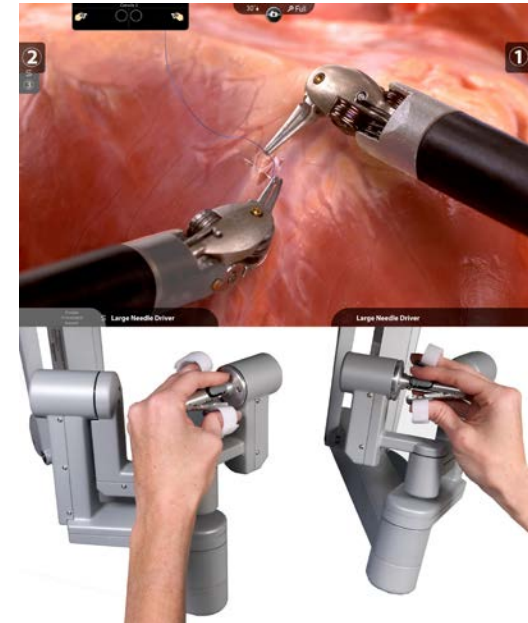
03. ロボット支援手術

胸腔鏡手術の良さに加え、
技術的な制約が解消され
ます

※低侵襲…手術・検査に伴う痛み・出血などをできるだけ少なくすること

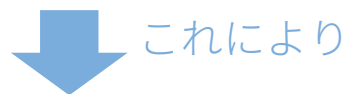
<ロボット支援手術とは>

胸腔鏡手術をさらに発展させた手術方式です。
高解像度3Dカメラ画像を見ながら、微細な動きを実現できるロボットアームを操り、
より安全で体への負担が少ない手術を行えます。



<ロボット支援手術のメリット>

ロボット支援手術は、
より正確で、より安全な手術が可能となります



メリット 3次元ハイビジョン映像によって細かい部分まで立体的によく見えます

01

メリット 胸の中で器具が自由に曲がるため、操作性が高まり安全性が向上します

02

メリット 血管やリンパ節周囲での処置を精細に行うことが従来よりも容易になります

03

<ロボット支援肺切除術の入院経過例>

入院期間：7日間

1日目	手術前日	入院	
2日目	手術当日	手術	絶飲食
3日目	手術翌日		歩行、食事再開
4日目			リハビリ
～			胸の管を抜去
6日目			
7日目	術後5日目	退院	抜糸なし